

事務事業名		非核平和都市PR事業		☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業	
政策体系	政策名	08 自立した行政経営の確立		事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 昭和54 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入
	施策名	35 効率的で質の高い行政運営の推進			
	基本事業名	01 成果重視の行政運営の推進			
根拠法令				予算科目 会計 款 項 目 事業	
所属	部課名	総務部総務課			
	課長名	鈴木昭浩			
	係名	行政文書係	電話 0192-27-3111		
	担当者	新沼圭史郎	内線 235		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・市内4箇所に設置している宣言都市広告塔に、当市が非核平和宣言都市であることを表示する。 ・公共施設で広島・長崎被爆写真パネル展を開催するとともに、原爆投下時刻にサイレンを吹鳴して世界の恒久平和と核兵器の廃絶を祈念する。市民に対して黙とうを呼びかけ、犠牲者の冥福を祈る。				全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計 (A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標																
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) ・原爆投下時刻に併せたサイレン吹鳴と市民への黙とう呼びかけ ・広島・長崎被爆写真パネル展の開催 今年度計画(今年度に計画している主な活動) ・原爆投下時刻に併せたサイレン吹鳴と市民への黙とう呼びかけ ・広島・長崎被爆写真パネル展の開催			⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 被爆写真パネル展開催日数</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>						名称	単位	ア 被爆写真パネル展開催日数	日	イ		ウ	
			名称	単位												
ア 被爆写真パネル展開催日数	日															
イ																
ウ																
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市民			⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 市の人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>						名称	単位	カ 市の人口	人	キ		ク	
			名称	単位												
カ 市の人口	人															
キ																
ク																
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 世界の恒久平和に向け、非核平和社会構築への意識を醸成する。			⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 被爆写真パネル展観覧者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>						名称	単位	サ 被爆写真パネル展観覧者数	人	シ		ス	
			名称	単位												
サ 被爆写真パネル展観覧者数	人															
シ																
ス																
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 計画的に質の高い行政運営がなされている。																
(2) 総事業費・指標等の推移																
		単位	年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)							
投入量	事業費	国庫支出金	千円													
		都道府県支出金	千円													
		地方債	千円													
		その他	千円													
		一般財源	千円	0	0	0	0	0								
		事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0	0							
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1							
		延べ業務時間	時間	8	36	36	36	36	36							
		人件費計(B)	千円	32	144	144	144	144	144							
		トータルコスト(A)+(B)		千円	32	144	144	144	144	144						
⑤活動指標	ア	日	-	7	7	7	7	7								
	イ															
	ウ															
⑥対象指標	カ	人	39,376	39,117	39,090	-	38,938	-								
	キ															
	ク															
⑦成果指標	サ	人	-	200	200	200	200	200								
	シ															
	ス															

事務事業ID	0009	事務事業名	非核平和都市PR事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 当市は、昭和60年9月、人類共通の念願である恒久平和に向けて、将来ともに非核三原則が遵守され、また、あらゆる国の核兵器廃絶と軍縮が推進されることを希求して、非核平和都市であることを宣言した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
 世界各地で紛争が多発し、自国においても憲法第9条の解釈(戦争の放棄)をめぐる集団的自衛権の論争が活発化している状況から、市民の非核平和社会構築への意識は高まっている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 毎年、全国規模の多くの団体、組織から、活動への参加が求められている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ 非核平和の実現は、人類共通の願いである。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ 市と市民が一体となって取り組むべき事業である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ 一地方自治体が実施する事業の範囲には限界があり、目に見える成果を期待することはできない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 一地方自治体が実施する事業の範囲には限界があり、目に見える成果を期待することはできない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ 非核平和の実現は人類共通の願いであり、地方自治体がこの事業を廃止又は休止することはない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある ⇒【理由】⇒ (具体的な手段, 事務事業) 多くの団体、組織がこの事業を展開している。 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 地方自治体として直ちに他の団体等と統廃合、連携できるとは限らない。 ☐ 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 現在、この事業の実施に当たっては、市の予算を支出していない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 事務量が少なく、民間委託はできない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 市民に等しくこの事業を広報し、協力を要請している。

事務事業ID	0009	事務事業名	非核平和都市PR事業
--------	------	-------	------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 事業の成果、結果が、直ちに目に見える形で表れるものではないことから、地道な息の長い事業展開が必要である。																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) この事業の目的が「市民意識の醸成」であることから、今後とも継続して市民への広報、周知に努めなければならない。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 事業がマンネリ化しないよう、パネル展では展示品の変更等による展示内容の変更、非核平和活動への署名参加など、工夫が必要である。																							

(職 名) ※原則として施策の主管課長		(氏 名)
2次評価者	総務課長	鈴木昭浩

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(3) 評価結果の根拠と理由 適切な事務執行がなされている。																					
(2) 2次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																							
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 今後とも、継続して市民への周知に努める一方、事業のマンネリ化を防ぐため、展示品の内容については、他市町村・団体とも連携して、相互に貸借するなど工夫すべきである。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
